

お電話、Eメールでも申込みできます。
(連絡先は先頭ページに記載)



ふるさと江別塾参加申込書<FAX用紙>

申込書 (本表裏面)	第1回 <input type="checkbox"/> 講義 1 こんな症状、どんな検査、治療？ 10月5日 (土) <input type="checkbox"/> 講義 2 高度医療を支える医療機器
	第2回 <input type="checkbox"/> 講義 1 江別の土地のつくりと災害 10月12日 (土) <input type="checkbox"/> 講義 2 江別市における防災
	第3回 <input type="checkbox"/> 講義 1 カリフォルニアと日本人—日系アメリカ文学を中心に— 10月19日 (土) <input type="checkbox"/> 講義 2 SDGsとフェアトレード
	第4回 <input type="checkbox"/> 講義 1 “草食系”は素晴らしい!!—緑の草から白い牛乳ができるまで— 10月26日 (土) <input type="checkbox"/> 講義 2 カルシウムだけでない牛乳の魅力

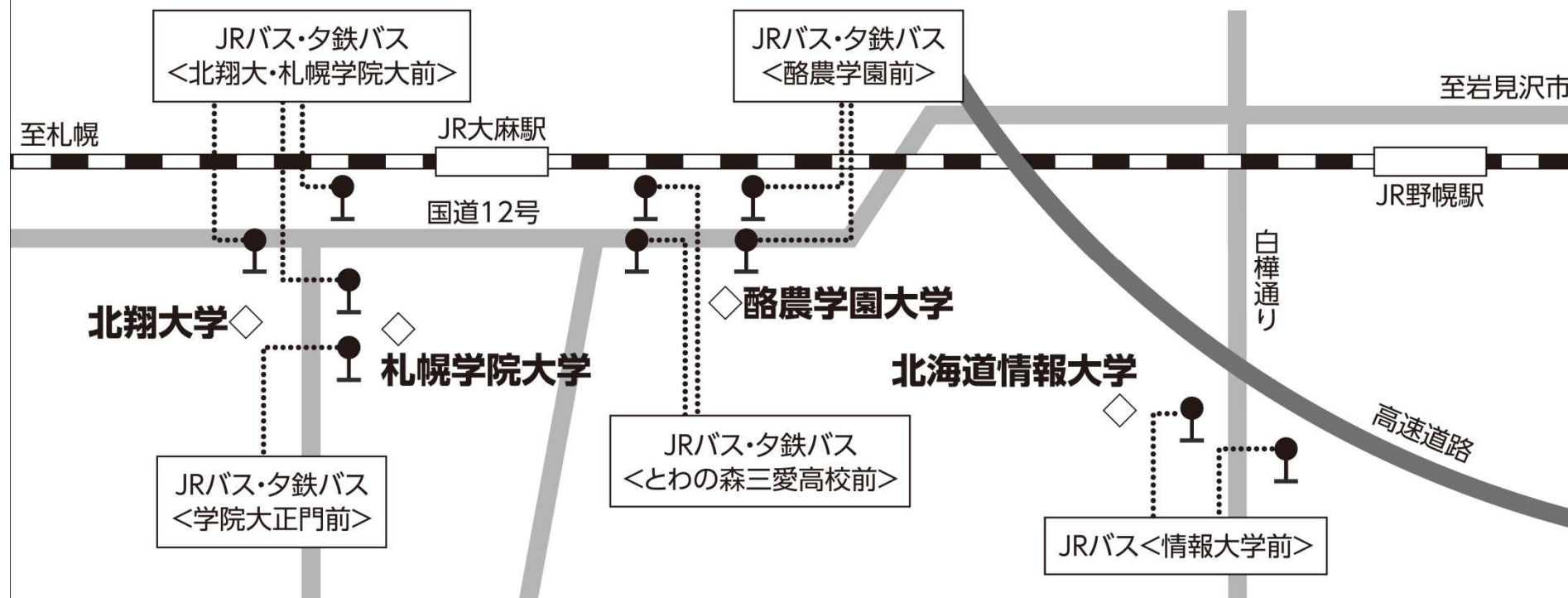
※全講義を希望される方は全てに○をお書きください。※申込書に記入いただいた個人情報は本事業以外には利用いたしません。

お申込日	月 日	「えべつ市民カレッジ手帳」をご希望の方は○をご記入ください (後日郵送します)
フリガナ	性別	<えべつ市民カレッジ生のみ> 学生番号をご記入ください
お名前	男・女	えべつ市民カレッジ生の申し込みはされましたか？ カレッジ生は「えべつ市民カレッジ手帳」を持ち、受講時にもらえるシールを貼ることで、自分がいつ、どんな講座を受講していたのか記録できます。 受講シールが一定の数以上になると、その数に応じて、修了証(学位)を市長から受けることができます。
ご住所	〒	手帳希望の方のみ 生年月日 大正・昭和・平成・西暦 年 月 日生 (歳) Eメール アドレス <記入なしでも可>
電話番号	()	

申込書送信先／江別市教育委員会生涯学習課(〒067-0074 江別市高砂町 24-6)

FAX 011-382-3434

会場と最寄りのバス停留所 (大学には駐車場あり)





—えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)—

2019「ふるさと江別塾」

市民の皆さんの高い知的欲求に応えることができるよう、市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用して、充実した学習機会場の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。人生を実り多い豊かなものにしていくために「ふるさと江別塾」を活用してみたいかですか。

各回定員100名・受講料無料です。

第1回

10月5日(土)

開講式 9:15~9:30

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

北海道情報大学

会場/校舎棟2号館211教室

こんな症状、どんな検査、治療?

医療情報学部 教授 佐藤 裕二

高度医療を支える医療機器

医療情報学部 准教授 加藤 伸彦

第2回

10月12日(土)

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

北翔大学

会場/北方圏生涯スポーツ研究センター(スポル)大会議室

江別の土地のつくりと災害

※上履き持参

教育文化学部 准教授 横山 光

江別市における防災

大学院生涯学習学研究科 教授 千里 政文

第3回

10月19日(土)

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

札幌学院大学

会場/B館1階B102教室

カリフォルニアと日本人—日系アメリカ文学を中心に—

人文学部 教授 岡崎 清

SDGsとフェアトレード

経営学部 教授 橋長 真紀子

第4回

10月26日(土)

講義1 9:10~10:40

講義2 10:50~12:20

閉講式 12:20~13:00

市民カレッジ学位授与式

酪農学園大学

会場/C1号館101教室

“草食系”は素晴らしい!!—緑の草から白い牛乳ができるまで—

農食環境学群循環農学類 教授 中辻 浩喜

カルシウムだけでない牛乳の魅力

農食環境学群食と健康学類 講師 析原 孝志

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

※えべつ市民カレッジ受講シールは、1講義ごとにお渡しします。

※道民カレッジ生の受講は各回(2講義)ごとに教養3単位を認定します。

※全4回(8講義)講座の受講者には閉講式で修了証をお渡しします。

<主催>

江別市・江別市教育委員会

お申込みは江別市教育委員会生涯学習課(江別市高砂町24-6)

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

<講義内容>

第1回 10月 5日(土)

北海道情報大学

江別市西野幌59番地2

電話011-385-4427

会場/校舎棟2号館211教室

講義
1

9:30~11:00

こんな症状、どんな検査、治療?

医療情報学部 教授 佐藤 裕二



【講義内容】われわれが日常体調の変化で病院を受診します。そのときに、医師から「この検査をします」といわれると、まず頭に浮かぶのが「痛い検査でしょうか」「注射をされるのでしょうか」といった疑問と不安がわいてきます。また、その検査にどんな意味があるのかも説明を受けてもよく理解できないことも多いです。それらを理解していただくことにより、その不安も取り除かれます。検査、治療法についてわかりやすく説明します。

【プロフィール】1979年3月北海道大学医学部医学科卒業。北海道大学医学部附属病院第一外科医員、北海道各地病院にて研修、北海道大学医学部附属病院第一外科助手、講師、助教授。2007年河北総合病院消化器・一般外科、副院長。2014年から現在まで北海道情報大学医療情報学部教授。日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本大腸肛門病学会指導医・評議員、日本肝臓学会専門医。専門は消化器外科、がん免疫。

講義
2

11:10~12:40

高度医療を支える医療機器

医療情報学部 准教授 加藤 伸彦



【講義内容】医療技術がどんどん進化する中で、医療機器も高度化・複雑化しています。そうした現代の高度医療によって救われる患者さんがたくさんいらっしゃいます。皆さんが普段目にするものではない最先端医療機器や高度医療の一部をご紹介します。また、本学で養成している高度医療を陰から支える臨床工学技士がチーム医療の中でどのような役割を担っているのかをお話しさせていただきます。

【プロフィール】滝川市出身。民間医療機関、医療職種養成専門学校を経て1999年北海道大学医学部附属病院手術部文部技官、同医療技術部副技師長、2007年北海道大学医学部臨床指導准教授(兼任)、2017年9月北海道情報大学医療情報学部着任。研究専門領域は、臨床工学、医療安全、医学教育。日本医療機器学会、日本手術医学会、日本医工学治療学会、日本医学教育学会等に所属。

第2回 10月12日(土)

北翔大学

江別市文京台23番地

電話011-387-3939 (地域連携センター)

会場/北方圏生涯スポーツ研究センター(スポル)大会議室

講義
1

9:30~11:00

江別の土地のつくりと災害

教育文化学部 准教授 横山 光



【講義内容】昨年9月の台風による倒木や、北海道胆振東部地震による災害は、江別市でもいくつかの被害を残しました。これからの災害に備えるために、江別の土地がどのようにできたのかを知ることは大切なことです。土地のつくりと私たちの生活がどのように関係しているのか、防災という視点で学んでみましょう。

【プロフィール】昭和63年江別市立大麻東中学校卒業。平成9年北海道教育大学大学院修士課程修了(教育学)。同年江別市立江別第一中学校着任、道内の中学校で勤務。平成23年北海道立教育研究所附属理科教育センター着任。平成26年北翔大学教育文化学部准教授着任、現在に至る。他に、洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク教育普及委員長、日本火山学会学校教育委員、プラタモリ洞爺湖編の案内人などを努める。

講義
2

11:10~12:40

江別市における防災

大学院生涯学習学研究科 教授 千里 政文



【講義内容】昨年の台風による倒木、北海道胆振東部地震による長期停電により、江別市では6カ所の避難所を開設し、多くの市民が数日間の避難所生活を余儀なくされました。災害をふり返りながら、一緒に防災について考えてみましょう。さらに、避難所で使う段ボールのベッドやハウス(間仕切り)の組み立て体験も行います。

【プロフィール】昭和42年3月11日生まれ。昭和62年建設会社経営。平成元年北海道東海大学大学院修士課程修了(芸術学)。同年北海道東海大学非常勤講師、平成6年北海道女子短期大学講師着任。現在北翔大学大学院教授。他に、1級建築士、福祉教育アドバイザー(北海道)、江別市の自治防災訓練講師、平成30年北海道胆振東部地震江別市災害検証委員会委員長を務める。



えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)

2019「ふるさと江別塾」

第3回 10月19日(土)

札幌学院大学

江別市文京台11番地
電話011-386-8113

会場/B館1階B102教室

講義
1

9:30~11:00

カリフォルニアと日本人—日系アメリカ文学を中心に—

人文学部 教授 岡崎 清



【講義内容】米国カリフォルニア州をはじめ西海岸には、明治期より多くの日本人が「日系移民」として渡りました。故郷を後にした「一世」、米国生まれの「二世」、いまは「五世」「六世」の時代です。先人の苦勞の足跡を、文学をとおしてみつめ、とくに第二次大戦下の「強制収容所」体験からくる日系人のアイデンティティ（自己の存在確認）の問題を考えてみたいと思います。

【プロフィール】1958年東京生まれ。中央大学大学院博士前期課程修了。英米文学専攻。1987年東京理科大学長万部教養部専任講師。1991年札幌学院大学助教授。2004年教授。2014年~2017年人文学部長。現在、日本英文学会北海道支部理事、日本アメリカ文学会代議員。共著『いま読み直すアメリカ自然主義文学』、共訳書『近代への叛逆—アメリカ文化の変容』など。19世紀末から20世紀初頭のアメリカ文学・文化の研究に従事する。

講義
2

11:10~12:40

SDGsとフェアトレード

経営学部 教授 橋長 真紀子



【講義内容】国連の持続可能な開発目標（SDGs）を達成すべく産官学民が様々な活動を続けています。その中で、生産者の自立支援につながるフェアトレードは、消費を通じた社会貢献として知られています。2019年6月1日、おとなりの札幌市はフェアトレードタウンに認定され、北海道でもこのフェアトレード活動が拡大しております。私たちが行う消費行動が、自分の満足や利便性の向上だけではなく、社会へどのように影響を与えていくかを考えます。

【プロフィール】金融機関、消費者教育支援センター、長岡大学を経て現職。日本証券業協会金融・証券教育支援委員会公益委員他。専門は、消費者行動、消費者教育、金融教育。主な業績：『パーソナルファイナンス教育の理論と実証—大学生の消費者市民力の育成—』（慶應義塾大学出版会、2018）、『新しい消費者教育—これからの消費生活を考える—』（慶應義塾大学出版会、2016）、“The Effectiveness of Personal Financial Education for College Students: Analysis of a University in the United States”『消費者教育』（第33冊、2013）などがある。

第4回 10月26日(土)

酪農学園大学

江別市文京台緑町582番地
電話011-388-4131（社会連携センター地域連携課）

会場/C1号館101教室

講義
1

9:10~10:40

“草食系”は素晴らしい!!—緑の草から白い牛乳ができるまで—

農食環境学群循環農学類 教授 中辻 浩喜



【講義内容】私たちにとって牛乳・乳製品はとても身近な食品ですが、牛乳を生産している牛（乳牛）のことはどれくらい知っているでしょうか。乳牛は私たちが食べることのできない緑の草から白い牛乳を作り出す素晴らしい能力を持っています。乳牛が食べるものや季節によって、牛乳の風味や成分が変わることを知っていますか？本講演では、“草食系”動物の体内で起こる不思議なイベントとその意義について解説します。

【プロフィール】1984年北海道大学農学部畜産学科卒業。1986年北海道大学大学院農学研究科畜産学専攻修士課程修了。1986年-1988年北海道立新得畜産試験場研究職員。1989年-2001年北海道大学農学部附属農場助手。2001年-2003年北海道大学北方生物圏フィールド科学センター助手。2003年-2006年北海道大学大学院農学研究科講師。2006年-2011年北海道大学大学院農学研究科講師。2011年-2012年酪農学園大学農食環境学群循環農学類家畜栄養学研究室准教授。2012年-現在酪農学園大学農食環境学群循環農学類家畜栄養学研究室教授。

講義
2

10:50~12:20

カルシウムだけでない牛乳の魅力

農食環境学群食と健康学類 講師 栢原 孝志



【講義内容】牛乳は成長期に飲むもの、カルシウムを摂るために飲むものと思いませんか？それは正しいです。でも、牛乳にはカルシウム以外にも様々な栄養成分が含まれていて、健康維持の効果がいくつもあることがわかっています。成長期はもちろん、幅広い世代にとって必要な飲み物であると言えます。この講座では、牛乳の栄養や性質をはじめ、カルシウムだけでない牛乳成分の体への良い影響について解説します。

【プロフィール】1999年酪農学園大学酪農学部食品科学科卒業。2001年酪農学園大学大学院酪農学研究科フードシステム専攻修士課程修了。2005年北海道大学大学院農学研究科応用生命科学専攻博士後期課程修了。2005年-2007年（独）農研機構 中央農業総合研究センター 特別研究員。2007年-2009年酪農学園大学酪農学部食品科学科乳製品製造学研究室講師。2009年-現在酪農学園大学農食環境学群食と健康学類乳製品製造学研究室講師。